

「小田原市立病院経営改革プラン」における「具体的な取組」のKPI進捗状況

区分	項目	具体的な取組	KPI	平成30年度の取組結果	評価	
収支状況の改善に向けた取組	収益関連の取組	患者数増加施策	紹介率、逆紹介率ともに令和2年度までに70%を達成	<p>・平成30年度実績(紹介率):70.5% (積極的な紹介患者の受入に努め、平成29年度と比べ1.5ポイント増加した。)</p> <p>・平成30年度実績(逆紹介率):79.4% (病院長と各診療科部長との面談時等において、逆紹介を推進するよう意識づけを行った。)</p>	○	
			年間救急搬送人数を令和2年度までに5,993件を達成	平成30年度実績:5,099人 (救急搬送人数は前年度実績値よりも低い結果となった。救急搬送の内訳をみると、軽症患者の受入割合は前年度と比べ減少しているが、重症患者の受入割合は前年度と比べ増加しているため、今後はこの部分も注視していく。)	×	
			査定率を令和2年度までに0.2%へ削減	平成30年度実績:0.3% (医療保険委員会で査定内容を周知するとともに、引き続き今年度も保険請求前のシステム点検や会計の誤入力について医療事務委託業者との連携を図った。)	○	
		単価適正化施策	毎年度において、認定看護師等による加算取得の実績を1件以上達成	平成30年度実績:6件 (新たに、4件(「早期離床・リハビリテーション加算」、「入院時支援加算」、「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(先進医療)」、「医療安全対策加算1(医療安全対策地域連携加算1)」)取得するとともに、2件(「医師事務作業補助体制加算1(20対1)」、「後発医薬品使用体制加算(2⇒1)」)の変更を行った。)	○	
		未収金抑制施策	毎年度において、前年度患者負担未収金残高を基準日(8月31日時点)と比較し10%削減	平成30年度実績:約12.2%の削減 (医師の協力や医療事務委託業者との連携により当日会計の推進等に取り組んだ。)	○	
	費用関連の取組	材料費の削減策	後発医薬品の使用割合について、令和元年度までに80%を達成	<p>・平成30年度実績(後発医薬品):86.7% (薬事委員会を中心に、後発医薬品に変更可能な先発医薬品の積極的な切り替えに努めた。今後は、入院と外来における数字にも注視することとし、DPC制度の中で包括されてしまう入院において、後発医薬品の割合をさらに高めていくよう取り組んでいく。)</p> <p>・平成30年度実績(値引き合計):約3,500万円 (病院幹部医師や薬剤科部長も参加して、全国自治体病院協議会の作成するベンチマークを活用し、年度中に2回の価格交渉を実施した。)</p>	○	
			毎年度において、価格交渉により各年度当初の契約単価からの値引き額合計を1,000万円以上削減	平成30年度実績:約3,800万円 (SPDによる価格交渉を年度中に1回実施したが、業者切り替えのタイミングと重なったこともあり、効果額が不十分となった。平成30年度は年度開始からSPD主体での価格交渉を実施するとともに、医師、看護師の協力を得た価格交渉を実施した。)	○	
		経費の削減策	毎年度において、価格交渉により各年度当初の契約単価からの値引き額合計を1,000万円以上削減	平成30年度実績:1件(▲約800万円) (当初、業務委託により新病院再整備基本構想の策定を行う予定だったが、直営で完成させた(▲約800万円))	○	
			委託内容、範囲及び契約方法の見直し	委託費金額の総額を令和2年度までに平成27年度対比で5,000万円削減	平成30年度実績:数値化不可 (平成29年度に業務委託契約を締結した複数年契約の業務委託は、令和2年度に更新時期を迎えるため、これに向けて他病院における業務委託の状況や業者からヒアリングを行った。)	▲

区分	項目	具体的な取組	KPI	平成30年度の取組結果	評価
収支状況の改善に向けた取組	その他の取組	・ 職員に対する経営情報の公開と共有化の推進	毎年度において、病院職員向けの経営情報の共有実績を1回以上達成	平成30年度実績: 2回 (経営戦略委員会、各診療科別ディスカッションにおいて、経営状況の報告を行った。)	○
		・ 各診療科・部署における年度目標の設定と評価	毎年度において、各診療科・部署における年度目標及び評価実績を1回以上達成	平成30年度実績: 1回 (各診療科別ディスカッションにおいて、業務実績の振り返り、今後の展望等について議論を行った。)	○
人材の確保・育成に向けた取組	人材の確保に向けた取組	・ 医師、看護師、医療技術職員の勤務環境の整備	職員勤務環境実態調査(隔年)を実施するとともに、毎年度において改善実績を1件以上達成	平成30年度実績: 改善実績0件(次回の調査は令和元年度) (平成29年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえた改善をすることができなかった。次回の調査においては、結果を改善に反映できるような質問項目とするよう見直しを行うこととする。)	×
		・ 看護師等奨学金制度の充実	毎年度において、奨学生を60人以上確保し、奨学生の当院就職率100%を達成	平成30年度実績(奨学生人数): 43人 平成30年度実績(就職率): 95.3% (年度中に2回の奨学生採用試験を実施し、18名を奨学生として貸付を開始した。令和元年度に現在の奨学金制度の効果検証を行い、今後も効果的な奨学金制度となるよう必要な見直しを行っていく。)	×
	人材の育成に向けた取組	・ 医師、看護師、医療技術職員及び事務職員の専門能力の向上に資する職場外における研修の充実	毎年度において、各科における研修計画書を作成し、この計画に基づく研修の実施率100%を達成	平成30年度実績: 数値化不可 (今後の研修のあり方について検討を行い、各部署に研修参加費及び旅費予算を配分して運用する方向で令和元年度中に結論を出すこととした。)	×
		・ 専門的な知識を有するプロパーの事務職員の採用検討	令和2年度までにプロパー事務職員の採用実績1人以上を達成	平成30年度実績: 0人 (平成29年度に正規職員を採用することを決定した、診療情報管理士及び医療社会福祉士の採用試験を実施し、平成31年4月から各1名の採用を内定した。)	▲
	建物設備の更新に向けた取組	建物設備に関する取組	・ 維持修繕計画に基づく既存建物の整備	毎年度において、維持修繕計画に基づく整備の実施率100%を達成	平成30年度実績: 100% (平成30年度は、老朽化の進む建物設備のうち、チリング式冷凍機の更新工事等を行った。引き続き、新病院建設医業の進捗を踏まえ、現施設の状況の変化に注視しながら、適宜維持修繕計画の見直しを行う。)
・ 医療機器の更新計画の策定			毎年度において、医療機器更新計画に基づく整備の実施率100%を達成	平成30年度実績: 100% (平成30年度は、更新計画に基づき「手術室管理システム」や「放射線診療情報管理システム」等を購入した。引き続き、新病院建設事業の進捗を踏まえ、適宜医療機器更新計画の見直しを行う。)	○
・ 病院の建替計画の策定			毎年度において、小田原市総合計画実施計画に基づく取組の実施率100%を達成	平成30年度実績: 100% (平成30年12月に市立病院の再整備のビジョンを取りまとめた再整備基本構想を策定した。)	○